

■氏名：早坂牧子

【研究業績】

■著書・編著書・CD・楽譜出版等

表題	単著・共著	発行年月	出版社・発行元
<i>Organ Recitals as Popular Culture: The Secularisation of the Instrument and Its Repertoire in Britain, 1834–1950</i>	単著	2016年7月	University of Bristol
VOICE SPACE 作品集3 『アラベスクの飾り文字』 (CD)	共著	2019年7月	Apollo Sounds
VOICE SPACE 作品集2 『声のまぼろし』 (CD)	共著	2010年2月	ラグタイム

■学術論文・研究報告書等

表題	単著・共著	発行年月	発行雑誌・学会等の名称
チューン 「歌、ダンス、シンフォニー— パーシー・ウィットロック (1903–1946) と20世紀初期イ ングランドの『軽めで正統な』 オルガン音楽—」	単著	2024年3月	日本オルガン研究会、『オルガン研究』 第51号、1–27頁
書評「宮本直美『ミュージカルの歴史—なぜ突然歌いだすのか』中央公論新社 2022」	単著	2024年3月	ポピュラー音楽研究学会、『ポピュラー音楽研究』第27巻、80–85頁
「三浦環の《冬の旅》(2)： 訳詞と1946年録音に見る演奏の 覚書」	単著	2024年2月	東京音楽大学、『東京音楽大学研究紀 要』第47集、43–58頁
「音楽大学の必修英語科目にお けるCLIL/ESP教育：初年度前 期の実践報告」	単著	2023年3月	国際教育研究所、『国際教育研究所紀 要』第29号、25–34頁
「三浦環の《冬の旅》(1)： 訳詞と1946年録音に見る演奏の 覚書」	単著	2023年2月	東京音楽大学、『東京音楽大学研究紀 要』、第46集、43–59頁
‘Accompanying the Nation: Performance Practice of Handel’s Oratorios in Nineteenth-Century Britain with Particular Reference to Sir Michael Costa’s Treatment of the Organ Part’	単著	2022年3月	キリスト教礼拝音楽学会、『礼拝音楽研 究』第20/21合併号、7–31頁
「音大生のための英語プログラ ム (English for Music Students, EMuS) 構築に向けて：内容言 語統合型学習 (CLIL) と特定の 目的のための英語 (ESP) に基 づく英語授業への提言」	単著	2022年2月	東京音楽大学、『東京音楽大学研究紀 要』第45集、143–157頁

「三浦環の《蝶々夫人》：『ある晴れた日に』（1917年）におけるテンポ分析」	単著	2021年3月	東京音楽大学、『東京音楽大学研究紀要』第44集、113–123頁
「W. T. ベスト（1826–97）と19世紀英国タウンホールのオルガン演奏会」	単著	2020年3月	日本オルガン研究会、『オルガン研究』第47号、1–17頁
「《ショウ・ボート》をめぐって—1927年ブロードウェイにおける『革新』とは何だったか—」	単著	2019年3月	国立音楽大学音楽研究所 20 世紀前半アメリカ音楽研究部門、『国立音楽大学音楽研究所年報』第31集、147–172頁
「アメリカのヒット・ソング・インデックス、1921～1945年」	共著	2019年3月	国立音楽大学音楽研究所 20 世紀前半アメリカ音楽研究部門、『国立音楽大学音楽研究所年報』第31集、19–70頁
「英国の三浦環—電子新聞アーカイヴを用いた1914～1915年の受容調査」	単著	2019年1月	東京音楽大学、『東京音楽大学研究紀要』第42集、57–75頁
「ヒューバート・パリーのオルガンコラール：20世紀初期英国における「バッハ的」音楽語法の影響とその受容」	単著	2013年3月	日本オルガン研究会、『オルガン研究』第40号、60–74頁
「《汚れつつまいった悲しみに・・・・・・》における詩のリズムと歌曲」	単著	2009年	中原中也の会、『中原中也研究』第14号、43–154頁
「『歌』になった中原中也—日本歌曲史の視点から」	単著	2006年	中原中也の会、『中原中也研究』第14号、54–164頁

■音楽活動等

名称	実施年月	活動	場所
「三浦環のシューベルト《冬の旅》—新発見の訳詞・録音に基づく再現演奏と語りでおくるプリマ・ドンナの生涯と芸術—」	2024年11月29日	三浦環生誕140周年を記念し、近年再発見された三浦の訳詞・録音に基づきシューベルト《冬の旅》を再現演奏する試み。小林沙羅（ソプラノ）、河野紘子（ピアノ）、大石みちこ（朗読）共演。	旧東京音楽学校奏楽堂
「三浦環ピアノコンサート」	2024年11月2日	山中湖村三浦環生誕140周年事業の一環として、東京音楽大学在学生を迎えてコンサートを開催。	山中湖文学の森 徳富蘇峰館 エントランス
「三浦環レクチャー・コンサート②」	2024年10月19日	三浦環生誕140年、プッチーニ没後100年を記念し、縁の曲を紹介するコンサートを企画。土井尻明子（ソプラノ）、大庭澄美江（ピアノ）共演。	山中湖文学の森 徳富蘇峰館 エントランス

「『環ピアノ』を楽しむ！プレトーク付きミニコンサート」	2024年10月12日	山中湖村三浦環生誕140年周年事業の一環として、東京音楽大学在学学生を迎えてコンサートを開催。	山中湖文学の森徳富蘇峰館 視聴覚室
「三浦環レクチャー・コンサート①録音でたどる三浦環（1884～1946）の人生と芸術―我らがプリマ・ドンナのここがすごい！」	2024年8月24日	山中湖村三浦環生誕140年周年事業の一環として、録音史料を紹介するレクチャー・コンサートを企画開催した。	山中湖文学の森徳富蘇峰館 視聴覚室
「三浦環ピアノふれあいミニ・コンサート」	2024年8月3日	山中湖村三浦環生誕140年周年事業の一環として、東京音楽大学在学学生を迎えてコンサートを開催。	山中湖文学の森徳富蘇峰館 視聴覚室
藤倉大 ‘My Letter to the World’	2023年12月16日	藤倉大作曲、エミリー・ディキンソン他詞による6曲の日本語版歌詞翻訳を担当。アンサンブル・ノマド第80回定期演奏会「プシュケー・息」vol. 3：～うたうだけ～にて初演。	東京オペラシテイ リサイタルホール
「ピアノの日200年記念 第1回 ヴィンテージ・ピアノ・コンサート」	2023年7月8日	大庭誠司氏修復によるヴィンテージ・ピアノを用いた声楽とピアノによるコンサートの司会、曲目解説。	アルテピアノ
「三浦環展開幕セレモニー：座談会」	2022年10月4日	三浦環所有ヤマハ製ピアノの修復を記念した「三浦環展」の開幕初日セレモニー座談会において、司会進行。	山中湖文学の森徳富蘇峰館 エントランス
VOICE SPACE Tour 2019 Final 「アラベスクの飾り文字」	2019年9月21・22日	宮沢賢治を中心とした詩による新曲演奏会。制作、出演。詩人の谷川俊太郎、佐々木幹郎、フォークシンガーの小室等、こむろゆいと共演。	豊洲文化センターシビックセンターホール
VOICE SPACE東京インスピレーション Vol. 6 「海越えていく声、女よ、子守唄よ！」（	2017年9月2日	中原中也を中心とした詩と音楽のライブ。構成、出演。詩人の川上未映子、藤原安紀子と共演。	渋谷公園通りクラシックス
Lunchtime Organ Recital	2014年3月21日	17～18世紀の英国オルガン音楽をメインとしたリサイタルで演奏。	John Wesley Chapel ‘The New Room’, Bristol, UK)
VOICE SPACE東京インスピレーション Vol. 5 「おれはひとりの修羅なのだ―宮沢賢治をめぐる音楽ファンタジー」	2014年1月16日	宮沢賢治の《春と修羅》を再構成した創作舞台を企画、脚本、構成、出演。	座・高円寺
Northern Germany Organ Tour Recital	2013年8月28日	Royal College of Organists, Suffolk Organists’ Association, Organ Club共催の北ドイツ・オルガン・ツアーにて修了演奏会に選抜され出演。	St Petri, Hamburg, Germany

Bristol and Districts' Organist Association, 'Edgar Joyce Memorial Recital'	2013年6月1日	ブリストル地方オルガニスト協会にて学生オルガニストとして表彰され、演奏会に出演。	St Paul's Church, Bristol, UK
VOICE SPACE東京インスピレーション Vol. 3「明日、いつもと違う匂い。—小林沙羅、声の宇宙」	2012年12月21日	佐々木幹郎、谷川俊太郎ほか現代詩を中心とした演奏会を企画、構成、出演。	代官山ヒルサイドプラザ
「詩と音楽のミニライブ」	2011年12月22日	中村裕美、谷川賢作、小室等らの曲をカバーしたライブを企画、出演。中村裕美（作曲・ピアノ）と共演。	渋谷七面鳥
「VOICE SPACE LIVE in サラヴァ東京」	2011年5月18日	現代詩と音楽のライブを企画、出演。	サラヴァ東京
谷川俊太郎・賢作の詩と音楽シリーズ「詩と音楽の贈りもの」	2011年3月6日	VOICE SPACEとして詩人の谷川俊太郎、ジャズ・ピアニスト谷川賢作と共演。	兵庫県芸術文化センター阪急中ホール
VOICE SPACE東京インスピレーション Vol. 2「詩と音楽のコンサート」	2010年12月1日	まど・みちお、金子みすゞを中心とした演奏会を企画、構成、出演。	門仲天井ホール
山口開府650年・湯田温泉復活300年記念事業「声のまぼろし」	2010年11月3日	山口をテーマとした現代詩と音楽のコンサートにVOICE SPACEメンバーとして出演、谷川俊太郎、佐々木幹郎と共演。	山口県教育文化会館
「声の幻」	2009年6月26日	VOICE SPACE作品発表会として、企画、構成、出演。	新宿文化センター小ホール
第4回「倉敷インスピレーション 詩と音楽のコンサート」	2008年9月25日	VOICE SPACEメンバーとして佐々木幹郎、フォークグループ「まるで六文銭のように」と共演。	倉敷チボリ公園
燕園の春—中日詩歌朗誦音楽会	2008年5月1～8日	中国の現代詩人との音楽コラボレーションの演奏会シリーズに佐々木幹郎と共に参加。	北京大学、中国伝媒大学、首都師範大学
文化庁芸術祭参加作品 中原中也生誕百年記念公演 朗読劇「子守唄よ—中原中也をめぐる声と音楽のファンタジー」	2007年10月8・21日	中原中也の母フクの口述記に、中也の詩や散文を織り交ぜ再構成した詩と音楽の舞台制作に、脚本、演出補として参加。	山口情報芸術センター/サントリーホール小ホール
第2回「倉敷インスピレーション 詩と音楽のコンサート」	2006年9月30日	VOICE SPACEメンバーとして参加、谷川俊太郎、佐々木幹郎と共演。	倉敷市アイビスクエアフローラルコート

■学会・学術研究会での発表・講演等

表題	単著・共著	実施年月／会場	発表学会の名称
'Reviving History: Tamaki Miura's Winterreise and the Reception of Art Song Performance in 20th-Century Japan'	単独	1 March 2024, Online	Art Song: A Global Force

「三浦環の《冬の旅》—録音と訳詞にみる演奏の実際」	単独	2022年11月27日、 オンライン	日本音楽学会第73回全国大会
「音楽大学におけるCLIL教育の 実践と課題」	単独	2022年9月17日、 オンライン	国際教育研究所年次大会
‘The Voice of the “Real Japanese” Butterfly”: Re-evaluating the Performance of Tamaki Miura through Tempo Analysis of Her Recording of “Un bel dì, vedremo” (1917)’	単独	19 May 2021, Online	<i>Rethinking Early Recordings: Diversity in Practice</i>
「三浦環の《蝶々夫人》—〈あ る晴れた日に〉(1917年録音) における歌唱分析の試み」	単独	2020年11月14日、 オンライン	日本音楽学会第71回全国大会
「英国の三浦環—1914～15年の 演奏活動と受容の再検討—」	単独	2019年10月20日、 大阪大学豊中キャンパス	日本音楽学会第70回全国大会
‘Organ “Thunderstorms”: The Practice and Reception of Descriptive Organ Music in Late Nineteenth- and Early Twentieth- Century Britain’	単独	26 November 2016, Centro Studi Opera Omnia Luigi Boccherini (Lucca, Italy)	<i>Nineteenth-Century Programme Music Symposium</i>
‘Music While You Shop: The Musical Life of the Royal Arcade, Boscombe’	単独	31 August 2016 Cardiff University (Cardiff, UK)	<i>Annual Conference of British Association for Victorian Studies</i>
‘The Sacred Sounds of Watering Places: Organ Recitals at Victorian Aquariums’	単独	9 July 2015, Royal Conservatoire of Scotland (Glasgow, UK)	<i>10th Biennial Conference on Music in Nineteenth-Century Britain</i>
‘Organ Recitals by the Sea: The Case of the Brighton Aquarium’	単独	12 January 2015, University of Bristol (Bristol, UK)	<i>Royal Musical Association Research Students’ Conference</i>
‘Searching for the Identity of the Organ: The Conditions Surrounding Cinema Organists in Early 20 th -Century Britain’	単独	2 July 2012, Accademia Nazionale di Santa Cecilia (Rome, Italy)	<i>The 19th International Congress of the International Musicological Society</i>

■競争的研究費等の研究課題

タイトル	制度名・研究種目	提供機関	研究期間	研究概要
三浦環のシューベルト 《冬の旅》—新発見の訳 詞・録音史料に基づく再 現演奏と語りでおくるプ リマ・ドンナの人生と芸 術—	台東区芸術文化支援 制度	台東区	2024年8月 ～2024年11 月	NHKアーカイブ ス・玉川大学教 育博物館所蔵の 未公開史料を用 いて、三浦環訳 《冬の旅》を再 現上演する試 み。

生誕 140 年記念 三浦環の《冬の旅》—新発見史料による再現演奏と朗読でおくるプリマ・ドンナの人生と芸術—	音楽関係学術イベント開催助成金（2024年度第1期）	日本音楽学会	2024年1月～2024年11月	同上。
三浦環の《冬の旅》—三浦環生誕140周年・訳詞と未公開録音に基づく再現演奏会—	音楽活動への助成	公益財団法人ロームミュージックファンデーション	2023年12月～2024年11月	同上。
三浦環の歌：録音と演奏評分析による20世紀初期日本人声楽家の歌唱スタイル考察	科学研究費助成事業若手研究	日本学術振興会	2020年4月～2024年3月	録音分析と受容研究の手法を用いて、三浦環の歌唱を音楽学的に再評価する試み。
三浦環の《冬の旅》：日本ラジオ放送黎明期の西洋音楽歌唱とその受容	NHK番組アーカイブス学術利用トライアル	日本放送協会 (NHK)	2021年11月～2022年3月	NHKアーカイブス所蔵の未公開音源を調査、三浦環による《冬の旅》訳詞と歌唱の記録と分析。
Accompanying the Nation: Handel's Choral Works Arranged for Music Festivals in Nineteenth-Century Britain, with Particular Reference to Manuscript Scores by Sir Michael Costa	Research Grant	Handel Institute	2017年2月～2017年5月	ロンドン孤児院博物館所蔵マイケル・コスタによるヘンデルの編曲譜を調査、19世紀音楽祭におけるオラトリオ編曲の分析。
Music Culture of Britain's 'Leisure Palaces', 1873-1923	British Association for Victorian Studies	Research Funding	2016年7月～2016年10月	ロンドン、ブライトンを中心に、19世紀の娯楽施設における音楽プログラムを調査。
近代イギリスにおけるオルガン音楽の世俗・大衆化：1880-1940年代の公共・娯楽施設及びメディアを中心としたオルガン文化の発展と受容	音楽の研究	公益財団法人 花王芸術・科学財団	2012年4月～2013年3月	博士論文研究のための調査。

(様式)

近代イギリスにおけるオルガン音楽の世俗・大衆化：1910-1940年代の映画館、放送局を中心としたオルガン文化とその受容	研究助成	公益財団法人 松下幸之助記念財団	2011年10月～2012年9月	同上。
--	------	------------------	------------------	-----